

フォトニュース

見頃を迎えたあじさいを満喫しませんか



大野山山頂では、梅雨の雨を受け、鮮やかにあじさいが咲き誇っています。15,000株のあじさいに加え、昨年から白いあじさい300株も植樹されています。7月下旬頃まで見ごろですので、ひときわ華やかに咲き誇るあじさいをぜひ満喫ください。



ほたるについて学ぼう！

6月13日、ふるさと館で「ほたるの夕べ」が開催され、ほたるの学習会とミニコンサートが行われました。

ほたるの学習会では、親子連れなど約90人が参加し、猪名川町子どもいきいきクラブの橋口さんを講師に、クイズなども交えて楽しく分かりやすい説明で、子ども達は楽しくほたるの生態などを学びました。



7月10日、雨が降る中、楊津小学校3年生が大野山頂で「森林の働きについて学ぶ」をテーマに、環境体験学習を行いました。

3年生13人の児童は、ゲストティーチャーの渡邊先生と一緒に大野山を歩き、樹木や草花を観察したり、植物の名前や特徴を調べました。

たまねぎがたくさんほれたよ！とってもうれしかったよ！
西浦 悠馬さん(年長)



ようちえんのはたけでこんなにおおきな、じゃがいもほれたよ！
召田 佳鈴さん(年長)



つつじが丘幼稚園



ぼくのかいたしょうぼうじどうしゃ、かっこいいでしょ！！
先田 栄一さん(年長)

あめがふったら、ほんとうにこのかさをつけてみたいな。
福本 璃乃さん(年長)



いながわ 歴史ウォーク ⑦

享保の六地藏 積尊の入滅後、彌勒仏がこの世に出現するまでの間、六道の衆生(一切の生物)を教化・救済するのが地藏菩薩だといわれます。六道とは仏教の世界観で、衆生の輪廻する6種の世界をいい、地獄道・餓鬼道・畜生道・阿修羅道・人間道・天道道があります。地藏信仰は平安時代から盛んとなり、六地藏信仰は平安貴族 小野篁が始めたと伝わっています。参議篁として小倉百人一首にも入れられている彼は、小野妹子の



六地藏第五所(天乳寺)

耳孫で、能書家小野道風の祖父です。小野小町の祖父説や、地獄との往還伝説もあります。京の都で始まった六地藏巡拝は、各地に伝えられました。さて、天乳寺住職 下條一弘さんが町内を調査研究され「今も猪名川町で大切に祀られる『享保の六地藏』をこのたび発行されました。6か村10km余の巡拝路は半日でもわれ、往時 地蔵の十福」を願って人々が行き交い、現在もそれぞれに地藏盆などが行われています。

オリジナルの一貫張り作り



6月30日、ふるさと館で一貫張り講習会が行われました。一貫張りとは、竹箆に和紙を貼り、その上から柿渋を塗った物を言い、昔から緑茶入れや衣類入れなど幅広く利用されています。参加者は、文字入りの和紙を使ったりしてオリジナルの一貫張りを作りました。

葉っぱのにおいをかいだよ！

